

施工業者様用

〈施工説明書〉

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

☎ 0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

コンビットリアーージュ®EV

捨て張り工法用フローリング

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。

・ピアノ・大型冷蔵庫等重量物の直置き禁止。

床材が破壊するおそれがありますので必ず補強対策をし、インシュレーター等を使用してください。

・根太への直接施工の禁止。

この商品は捨て張り工法用ですので根太への直接施工はしないでください。

・ワックス及びフロアコーティングの使用禁止

表面はコート処理しておりますので、ワックスは不要です。
また、ワックスなどの水分・油分が目地などに多く入り込むと膨れが発生することがありますので、使用しないで下さい。

・床下収納庫天板への単独使用禁止。

接着剤・ビスで12mm以上の捨て張り合板を張り、総厚が15mm以上になるようにしてください。



必ずおこなう

・床下換気口の設置。

湿気がこもると床材が腐朽する原因となります。

・フロアへの仮並べを行う。

床材の表面のシートには、樹種の特徴を意匠表現しております。
その為、施工時にはバランスよく意匠が配置されるよう仮並べをお願いします。

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

・開梱後は速やかに施工。

本製品は吸湿を避けるために防湿梱包になっております。
曲りや反りなどが発生する恐れがあるので、開梱後は放置せず、速やかに施工してください。

注意!

・パネルの釘打ち位置注意。

パイプなどの釘打ち禁止部に釘打ちしないでください。
水漏れや故障の原因となります。

・水廻りの使用はお控え下さい。

水分や湿度の影響を受けやすいため、洗面や脱衣所などの水濡れ頻度が高い所での施工はお避け下さい。

・適合温湿式パネルの確認。(電気式発熱パネルは非推奨)

適合しない温湿式床暖パネルを使用すると荷重による破損や踏み鳴りまたは事故の原因となるおそれがあります。

※床暖房を使用する場合は、必ず床暖房施工に対応した施工方法をお守りください。

1 施工の前に確認してください。

① 開梱

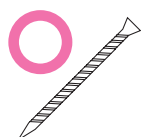
梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。

当製品は木質製品です。**輸送中・施工中の水漏れは厳禁です**。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

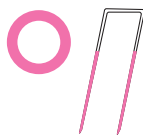
また開梱後は速やかに施工してください。

③ 工具の準備

■釘仕様



フロアーネイル
38mm以上



接着剤付きフローアー用
ステープル38mm以上

※石膏ボードを下地に使用する場合は石膏ボードの下に厚さ12mm以上の下地合板を施工し、下地合板まで届く長さの接着剤付きフローアー用ステープル(足長48mm以上)、またはフロアーネイル(長さ48mm以上)をご使用ください。



フィニッシュネイル(針釘)
ブラッドネイル(針釘)

※フィニッシュネイル・ブラッドネイル(針釘)や通常の釘類は使用しないでください。

② フロアーの仮並べ

床材の表面のシートには、樹種の特徴を意匠表現しております。

その為、施工時にはバランスよく意匠が配置されるよう仮並べをしてください。極端な不具合などがありましたら、施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。

施工後のお申し出には応じかねます。

■指定接着剤

メーカー	品番	接着剤タイプ
ウッドワン	捨て張り/根太工法用接着剤 ZX0223	ウレタン樹脂系接着剤
		(床暖房・非床暖房共用)

その他推奨指定接着剤

メーカー	品番	接着剤タイプ
コニシ(株)	ボンドKU928C-X PX280	ウレタン樹脂系接着剤 変成シリコン樹脂系接着剤
(株)オーシカ	セレクトィMS-330(A)	変成シリコン樹脂系接着剤
(株)日本アクア	アクアタイト	変成シリコン樹脂系接着剤
積水フーラー(株)	床根太・床仕上げ接着剤#55-S	変成シリコン樹脂系接着剤
アイカ工業(株)	JW-400NF/K/K4(床棟梁) SE-770(爽床)	ウレタン樹脂系接着剤 変成シリコン樹脂系接着剤

※上記の接着剤からお選びください。

※酢酸ビニル系(白ボンド)・アクリル系エマルジョンなどの水性系接着剤は使用しないでください。

2 施工手順

① 下地の確認(施工)

(1)十分な乾燥の後、施工する

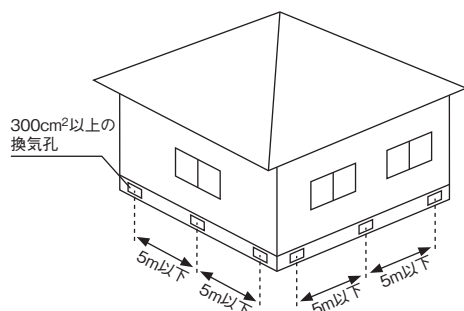
捨て張り施工の場合や、RC構造などの床下が完全防水の場合、下地材・根太・床下等がひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。床下地や床下が雨で濡れると乾燥するまでに時間を要します。**屋根工事が終わるまではビニールシート等で濡れないように保護してください。**

(2)防湿のために風通しをよくする

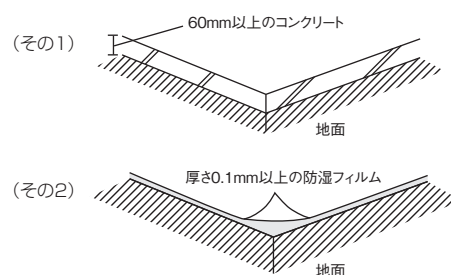
床下換気口の位置と数は建築基準法令に従ってください。

(外壁の床下部に壁長さ5m以下毎に、300cm²以上の換気孔設置)床下の湿度が特に高い場合は、地盤全面に厚さ60mm以上のコンクリートの打設、または厚さ0.1mm以上の防湿フィルムを全面に敷きつめる等の防湿処理をおこなってください。

一般住宅 換気孔の適正配置(参考)

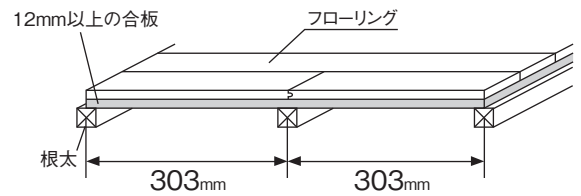


床下の湿度が高い場合の防湿方法



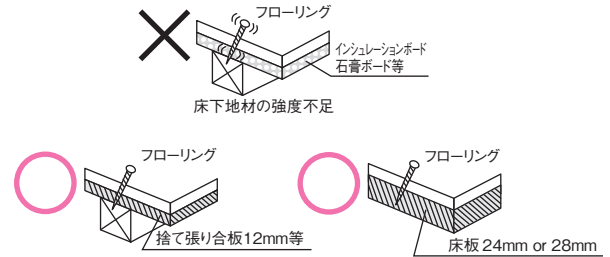
(3) 根太施工

根太には反り、ねじれの無いプレーナーがけした45mm角以上の乾燥材(含水率14%程度)を使用してください。
根太間隔は303mmピッチとしてください。



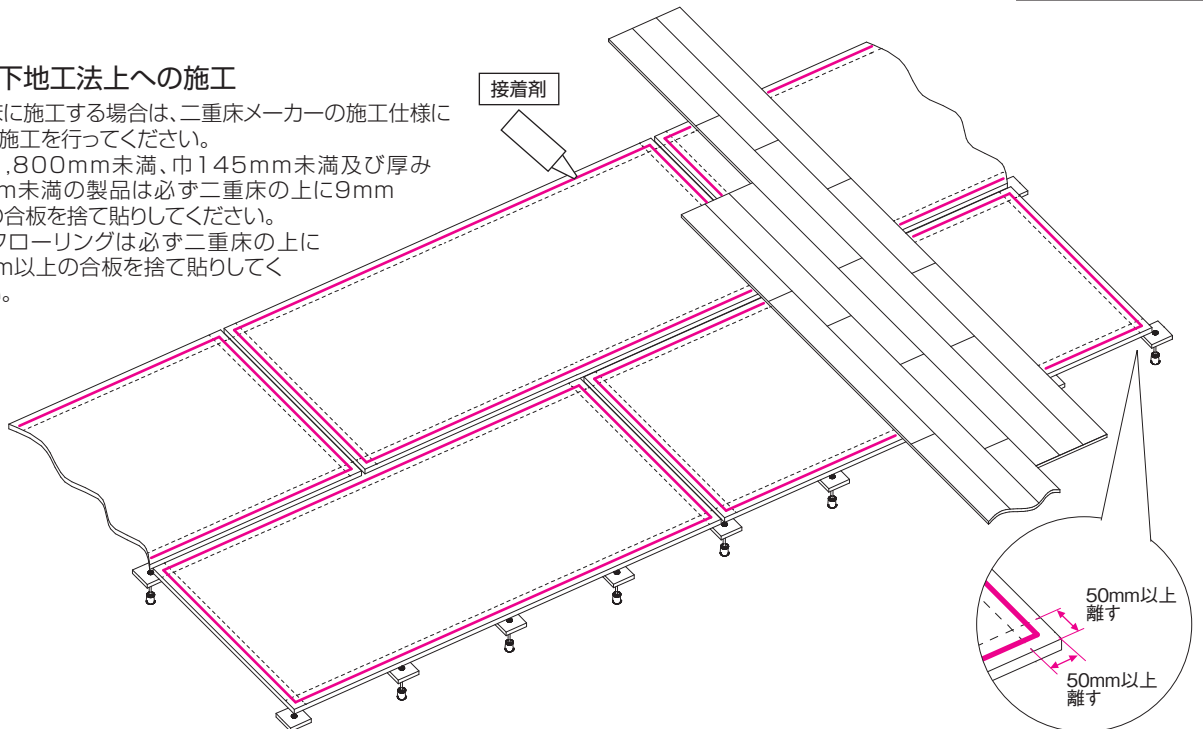
(4) 捨て張り合板

根太の上には下地合板として厚さ12mm以上、含水率14%以下のものを使用してください。
床下(コンクリート)等はコンクリート含水計で含水率10%以下であることを確認し、施工をおこなってください。含水率が高いと接着不良やフローアの反り、突き上げ、変色、カビなどが発生するおそれがあります。また**根太と合板は接着剤・釘併用施工としてください**。
捨て張り合板は突きつけて施工せず、2mm程度継ぎ目をあけてください。その際、捨て張り合板の接合部の段差ができないように注意してください。



(5) 二重床下地工法上への施工

- ① 二重床に施工する場合は、二重床メーカーの施工仕様に従って施工を行ってください。
- ② 長さ1,800mm未満、巾145mm未満及び厚み12mm未満の製品は必ず二重床の上に9mm以上の合板を捨て貼りしてください。
- ③ 無垢フローリングは必ず二重床の上に12mm以上の合板を捨て貼りしてください。



捨て貼り合板有り(推奨施工)

- ※1. 床鳴りやたわみ防止として9mm以上の捨て貼り合板の使用をお勧めいたします。
- ※2. 二重床への捨て貼り合板の施工は、パーティクルボードの長手方向に直行するように施工してください。

捨て貼り合板無し(二重床メーカー施工仕様に準ずる)

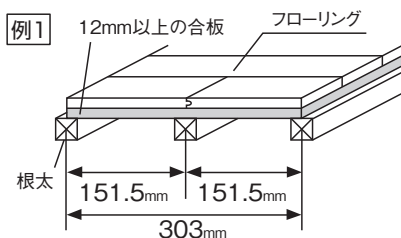
- ※1. フローアを直接二重床に施工する場合は、フローアのジョイントは、パーティクルボードの端部から必ず50mm以上離すように割り付けを行ってください。
- ※2. パーティクルボードの長手(1,820)、短手(600)の4辺には、必ず根太バンドを図のように塗布してください。

その上で、通常の施工方法に準じた位置に接着剤を(303mmピッチ、ものによっては150mmピッチ)に塗布し、釘打ちを行ってください。

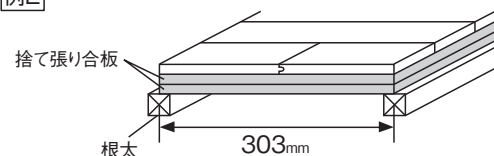
(6) 重量物設置の場合の補強処理

重量物を設置する場合には根太間隔を151.5mmにする(例1)か、12mm以上の下地合板を2重に捨て張りして(例2)補強してください。
※温水式床暖パネルの耐荷重についてはパネルメーカーにお問い合わせください。

重量物の
補強方法



例2



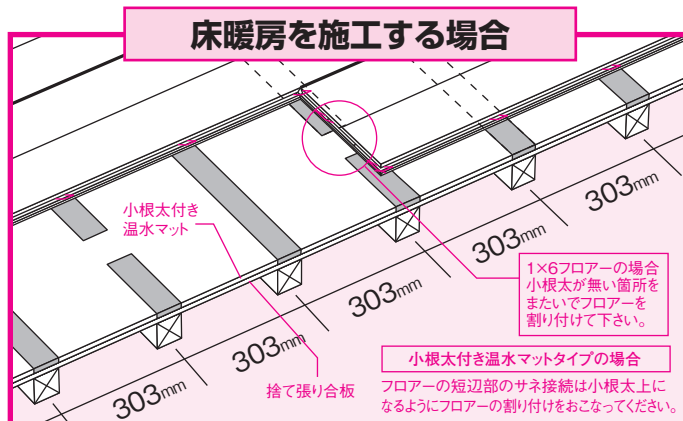
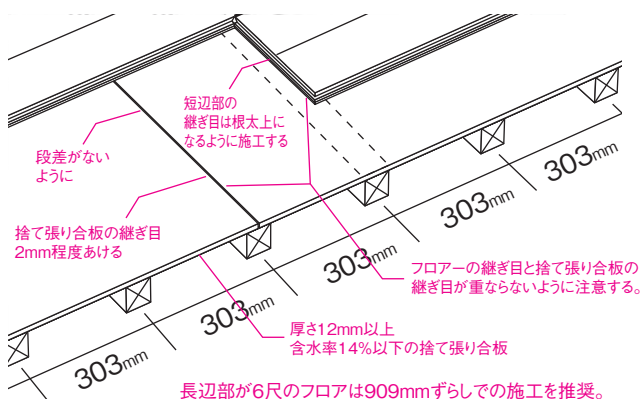
床暖房を施工する場合

小根太付き温水マットの場合

- 小根太付き温水マットとフローアの適合を確認したうえで施工をおこなってください。
- 小根太とフローアが直交するように割り付けてください。
- 小根太付き温水マットは各メーカーの施工要領に従って施工してください。

② フローアの割り付け

- フローアの短辺部のサネ接続は根太上になるようフローアの割り付けをおこなってください。
 - フローアは根太と直交するように施工してください。
- ※捨て張り合板の継ぎ目とフローアの継ぎ目が重ならないように注意してください。



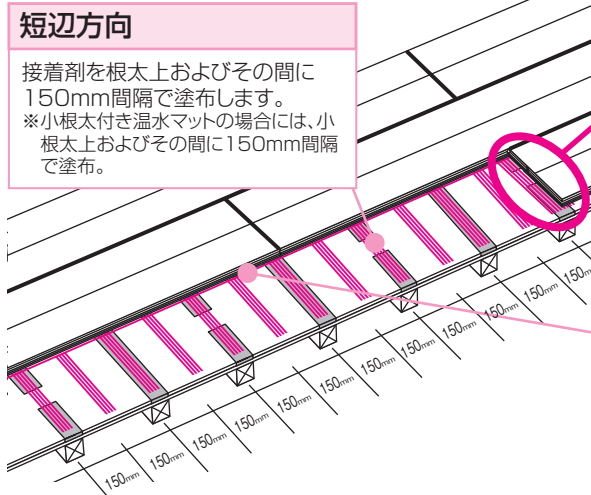
③ 接着剤の塗布方法

※非床暖房の下地に施工する場合も同じです。

接着剤カートリッジ ノズル4口タイプ使用時

短辺方向

接着剤を根太上およびその間に 150mm間隔で塗布します。
※小根太付き温水マットの場合には、小根太上およびその間に150mm間隔で塗布。



塗布量:約320~400g/m² カートリッジタイプ(760ml/約1kg入り) 1本で約0.7~0.8坪分の施工が可能です。

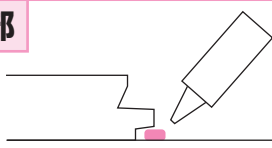
短辺部 必ずフローア短辺の端に接着剤が付着するように塗布します。

接着剤の太さ約4mm/本が目安



長辺オスザネ下部

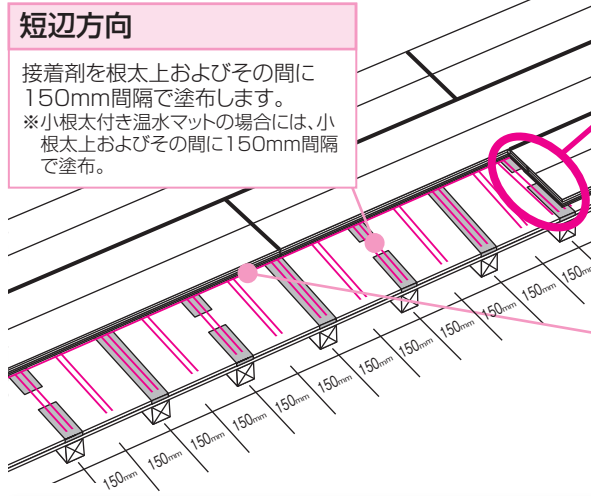
先に施工したフローアの オスザネ下部に接着剤を 塗布します。



接着剤カートリッジ ノズル1口タイプ使用時

短辺方向

接着剤を根太上およびその間に 150mm間隔で塗布します。
※小根太付き温水マットの場合には、小根太上およびその間に150mm間隔で塗布。



塗布量:約320~400g/m² カートリッジタイプ(760ml/約1kg入り) 1本で約0.7~0.8坪分の施工が可能です。

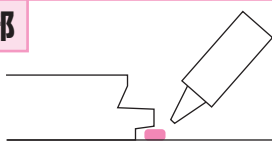
短辺部 必ずフローア短辺の端に接着剤が付着するように塗布します。

接着剤の太さ約6mm/本が目安



長辺オスザネ下部

先に施工したフローアの オスザネ下部に接着剤を 塗布します。



⚠ 注意

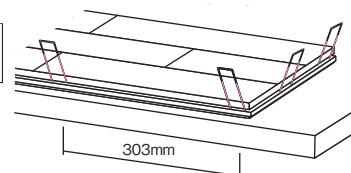
- 接着剤がフローアの表面に付着した場合は、乾いた布や、シンナー・アルコールを染みこませた布ですばやく拭き取ってください。接着剤が硬化すると取れなくなります。また、水拭きだと接着剤が表面に残り、ムラや汚れの原因となるおそれがあります。
- 接着剤のはみ出しが無いよう適量を塗布し製品表面に接着剤が付着した場合には速やかに布などで拭き取ってください。接着剤が硬化後は除去することができなくなります。

④ 釘打ち

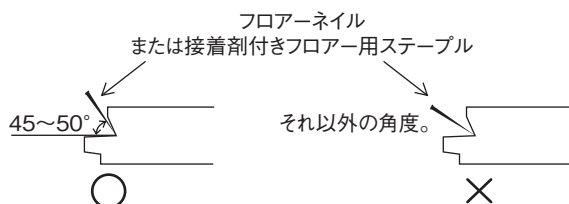
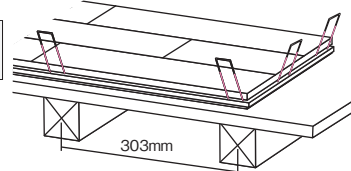
フロアーの長辺方向303mmピッチ、短辺方向(エンドマッチ部)2カ所、弊社指定の接着剤付きフロアー用ステーブルもしくは、フロアーネイルを打ち込んでください。



下地材:床板
24mm or 28mmの場合



下地材:合板
12mmの場合



※釘打ち角度は45~50°で打ち込んでください。これ以外では釘頭が基材を持ち上げ膨れが発生してしまうおそれがありますので特に注意してください。

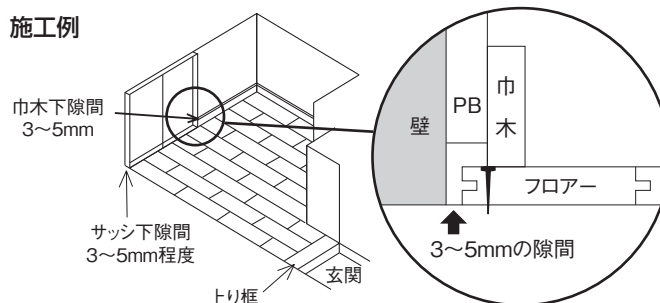
⚠ 注意

釘(接着剤付きフロアー用ステーブルもしくはフロアーネイル)打ち込み時、釘の頭がフロアーにめり込まないよう適正なエア圧を設定してください。釘の頭がめり込んだ場合、適正な釘保持力が確保できません。

⑤ 壁際の納め

フロアー周辺の壁際およびサッシ下などには必ず3~5mm程度の隙間をあけてください。
また端部の床材は脳天から釘打ちし、完全に固定させてください。

施工例

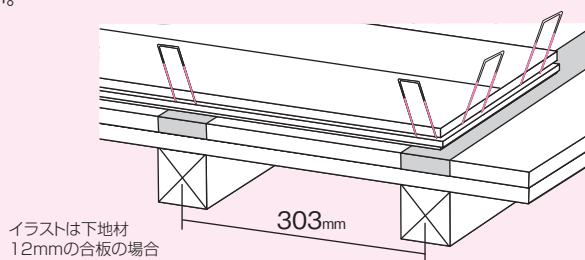


床暖房を施工する場合

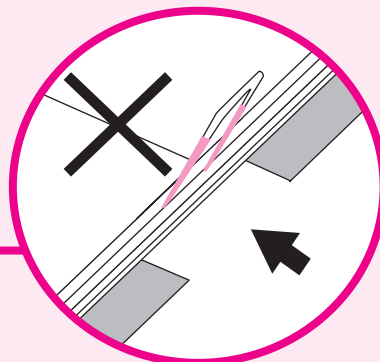
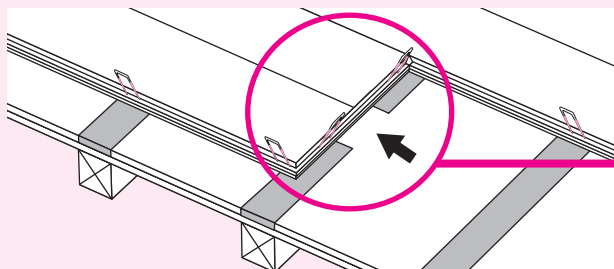
※フロアーの短辺、長辺のサネ接続は小根太上になることを確認した上でフロアー施工を始めてください。

釘打ちはフロアーを押さえ、フロアーと下地をしっかりと密着させた状態で釘打ちしてください。

フロアーの長辺方向303mmピッチ、短辺方向(エンドマッチ部)2カ所、弊社指定の接着剤付きフロアー用ステーブルもしくは、フロアーネイルを打ち込んでください。



※温水パイプ配管コーナー部の小根太が無い箇所については釘打ち厳禁です。

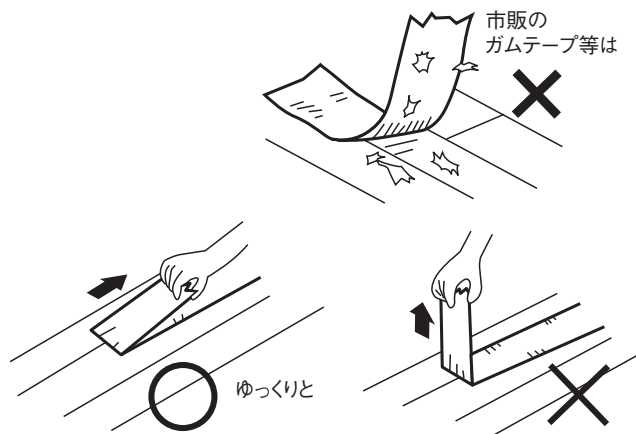


⑥ 梅雨時期の湿度対策

- 施工現場にて開梱後は養生期間をおかずに速やかに、施工してください。
開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

⑦ 養生

- フロアー施工後、接着剤が硬化するまではフロアーが動かないよう適正に養生してください。(養生期間:1週間程度)
- 施工後は、木屑や砂、ごみをきれいに取り除いてダンボール、ベニヤまたは養生力バー等で隙間なくカバーしてください。**市販のガムテープ**や粘着力の強い養生テープをご使用になりますと、塗膜の剥がれの原因になりますので、別売の養生テープ(ZY0211)をご使用ください。
なお、養生に使う段ボールや、ボードは濡れていないことを確認するとともに、濡れないような配慮をお願いします。
- 養生テープを取り除く際は、テープを床面と垂直にしながら剥がすと、製品表面の塗膜剥離をおこすおそれがありますので、テープを床面と平行にしながら、ゆっくりと剥がしてください。



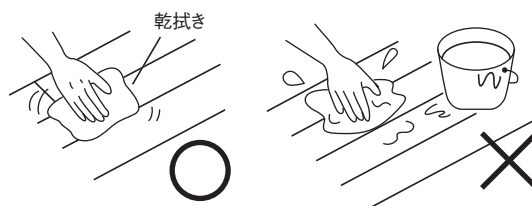
⚠ 注意

養生期間中、絶対に床暖房および暖房機器の使用は避けてください。
フロアーのサネ接継部の際間発生などの原因となるおそれがあります。

3 施工終了後

汚れ落とし

ほこり、小さな汚れを乾いた布で乾拭きしてください。水拭きを行うと長期の間に割れが発生することがありますので、避けてください。ただし、汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた雑巾を強く絞ってから拭いてください。



美装業者様におかれましては、下記の点について十分注意して作業してください。

- ※ フローリング表面に、水や洗剤を撒き散らさないでください。変色や、床材の変形(膨れ)の原因になります。
- ※ ポリッシャーには柔らかいバットをご使用ください。表面のキズの原因になります。
- ※ ワックスの塗布はしないで下さい。